

2019年2月

ヘルスケア・インサイト: イノベーションとインパクト

2019年メディケア・フォー・オール（国民皆健康保険制度）法案の発表を受けて、ヘルスケア・プロバイダー＆サービス株が2月後半に急落しました。

最もパフォーマンスが良かったサブセクターはライフサイエンス・ツール＆サービスでした。また、ヘルスケア機器＆サブライも良好なパフォーマンスでした。

高額な薬品価格について米国議会で製薬会社幹部による証言が行われたものの、製薬株が上昇しました。

市場インサイト

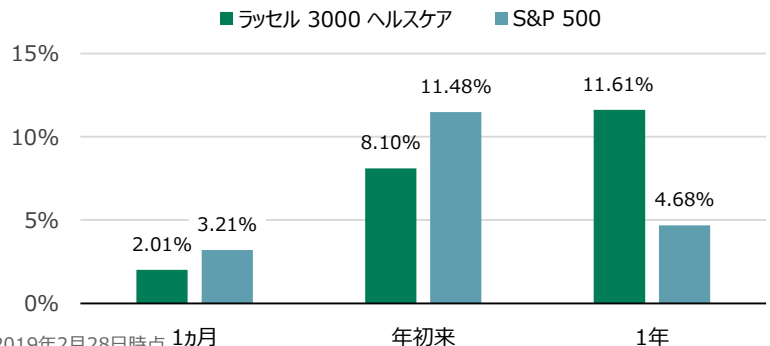
2月下旬に米下院で2019年メディケア・フォー・オール（国民皆健康保険制度）（H.R.1384）が発表されたことを受けてヘルスケア・プロバイダー＆サービス株が大幅に下落し、ヘルスケア・セクターのパフォーマンスは市場全体の動きとは異なりました。月中平均でラッセル3000ヘルスケア指数の18%を占めるこれらの銘柄のパフォーマンスがセクター全体を押し下げました。バイオテクノロジー株のリターンは若干のプラスであったものの、やはり指数を下回りました。

もし法案が通れば政府が医療費を支払う国民皆保険が成立しますが、ヘルスケア業界や保険業界の反対が強いため、現状の法案が可決される可能性は低い見通しです。

ヘルスケアセクターの他の分野では、最もパフォーマンスが良かったのはライフサイエンス・ツール＆サービスでした。また、ヘルスケア機器＆サブライも良好なパフォーマンスでした。セクター内の企業の買収と、細胞組織への侵襲性を最小限に抑えた肺生検システムがFDA（連邦食品医薬品局）の認可を受けたことに加えて20億ドル相当の自社株買いを発表したインテューイティブ・サージカルが上昇したことがヘルスケア機器セクターを押し上げました。高額な薬品価格に関する製薬会社幹部による議会証言が行われたにも関わらず、製薬株も上昇しました。

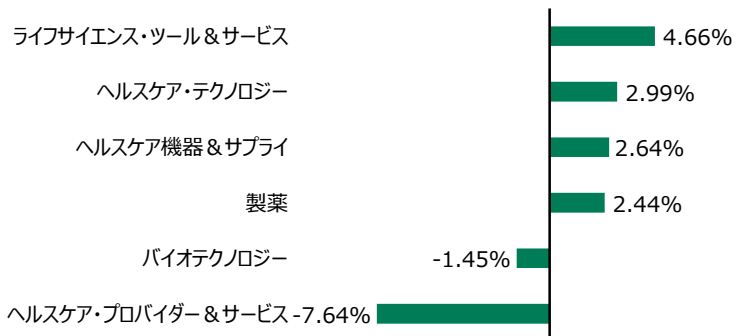
パフォーマンス・スナップショット

月次トータルリターン



2019年2月28日時点
出所: FactSet.

業種別超過リターン、対ラッセル3000ヘルスケア指数



2019年2月1日から2019年2月28日
出所: FactSet.

国連の 持続可能な 発展目標 (SDG)



「健全な生活を確保し、あらゆる世代層の健康を促進する」

インパクト・テーマ



革新的な治療法



医薬品とサービスへの
アクセス



医療費削減の新しい
ソリューション



機器、サービス、ソフトウェア
の生産性向上

ロボット手術における機会と革新

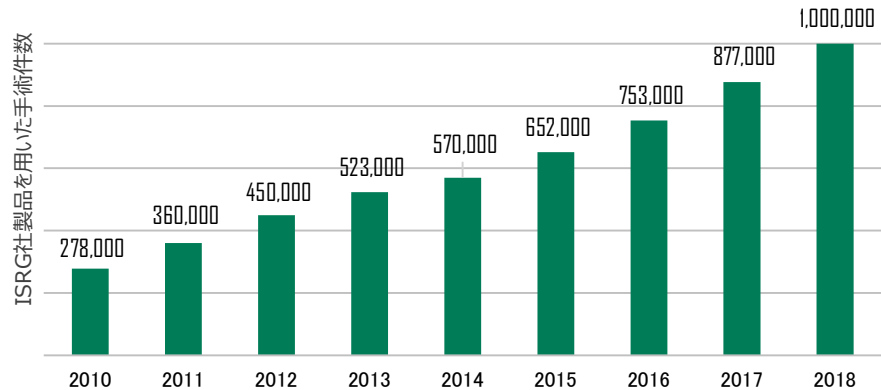
ヘルスケアセクターの企業はイノベーションと成長を追求するため買収に目を向けていることを背景に、先月のレポートでは業界内の合併について触れました。先月のレポート発行後間もなく、Johnson & Johnsonがロボット手術企業 Auris Health を57.5億ドル相当で買収しました。

医師が使用するツールや技術が治療や診断に影響を与えることを踏まえると、この買収によって、高精度のロボット手術システムが患者の治療成果にポジティブなインパクトが齎されることが期待されます。従来の外科手術と異なり、ロボット支援手術では、外科医の手と目の役割を果たす器具を用いて手術を行うことができます。小さな傷口で済むこれらの最小侵襲手術は、通常、出血や痛み、不快感が少なく、感染リスクが低く、回復が速く、瘢痕が少なく済みます。

インテューイティブ・サージカル社 (ISRG) が開発した da Vinci® platform はロボット手術市場の先駆者です。下のグラフは、同社の手術システムを使用して行われる年間の手術件数が増加していることを表しています。ロボット手術市場拡大の次の段階は、その応用範囲の拡大です。肺がんの診断と治療は有望な拡大分野のひとつです。

ロボット支援手術件数の安定した増加傾向

インテューイティブ・サージカル年間手術件数の増加



2010年から2018年
出所: Company Financials.

注目銘柄：インテューイティブ・サージカル

インテューイティブ・サージカルは、手術ロボットのダヴィンチ®・サージカル・システムの他、侵襲的手術の関連機器や付属品の開発、製造、販売に携わる企業です。世界中で500万件を超える外科手術がダヴィンチ®・システムを用いて行われています。インテューイティブ社は Shanghai Fosun Pharmaceutical Group (上海復星医薬(集団))と提携して、肺生検用の費用効果の高いロボット支援カテーテルを開発しています。肺がんは、中国を含む多くの発展途上国における主な死因のひとつです。

インテューイティブ・サージカルは、私どもの目標としている社会的インパクト・テーマ（左端参照）のうち、「革新的な治療法」、「機器、サービス、ソフトウェアの生産性向上」、「医療費削減の新しいソリューション」の3点を達成するのにふさわしい企業です。

著者



Michael Li, Ph.D.

ポートフォリオ・マネジャー

アメリカン・センチュリー・インベストメンツのVP及びポートフォリオ・マネジャー。2002年に同社入社。それ以前は科学者及びプロジェクト・マネジャーとしてPharmaceutical Research Institute of Bristol-Myers Squibb Co. に勤務し、FDAに研究用新薬の申請を行うなど、医薬品発見から開発まで、研究者をサポートする多機能チームの管理に従事した。中国科学技術大学で材料科学及びエンジニアリングの学士号取得、ペンシルベニア大学ウォートンスクールで経営学修士号、ミシガン大学で化学Ph.D.を取得。



Henry He, CFA

ポートフォリオ・マネジャー

アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオ・マネジャー。前職はBNP Paribas Investment Partnersのシニア・エクイティ・リサーチ・アナリスト、及びポートフォリオ・マネジャーとしてヘルスケア及びバイオテクノロジーセクターの運用を担当。ハーバード大学で経済学学士号取得。CFA®チャーターホルダー。



Kevin Lewis, CFA, CAIA

シニア・クライアント・
ポートフォリオ・マネジャー

投資家と共に歩み、グローバルグロース株式市場に関するインサイトと展望を提供する。また、アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオ運用チームを代表して同社のグロース株投資哲学、投資プロセス、及びパフォーマンスを提供する。CFA®チャーターホルダー及びCAIA®チャーターホルダー。

過去のパフォーマンスは将来の投資成果を保証するものではありません。

ここに表明される意見は、アメリカン・センチュリー・インベストメンツの意見であり、アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオの将来のパフォーマンスを保証するものではありません。この情報は参考情報の提供のみを目的としており、投資アドバイスを目的としたものではありません。特定の有価証券への言及は、説明目的のためのみであり、有価証券の購入または売却の推奨を意図したものではありません。提示された意見及び予想は当社の判断とその他のポートフォリオ・データを含んでおり、予告なしに変更されることがあります。

この情報は、個人的な推奨あるいは信任アドバイスを意図したのではなく、投資や会計、法律、税務アドバイスの判断に用いられるべきではありません。

日本の投資家向け：この資料は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されているいかなる有価証券やアドバイス、サービス、投資戦略、プロダクトの売買の勧誘を目的としたものではありません。この資料は米国外のリテール投資家を対象としています。この文書の内容は規制当局によって審査されていません。American Century Investment Management, Inc. は日本で登録されていません。

American Century Investment Management (Asia Pacific), Limitedは証券先物委員会（「SFC」）のタイプ1およびタイプ4の登録を保持しています。American Century Investment Management, Inc.はSFCに登録されていません。

American Century Investments®

4500 Main Street
Kansas City, MO 64111
1-866-628-8826

330 Madison Avenue
New York, NY 10017
1-866-628-8826

1665 Charleston Road
Mountain View, CA 94043
1-866-628-8826

2121 Rosecrans Avenue
El Segundo, CA 90245
1-866-628-8826

3 Garden Road, Central
Hong Kong
+852 3405 2600

12 Henrietta Street
London, WC2E 8LH
+44 20 7024 7080

167 Macquarie Street
Sydney, NSW 2000
+61 2 8667 3025

【野村アセットマネジメントからのお知らせ】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。

したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

■投資信託に係る費用について

2019年3月現在

ご購入時手数料 《上限4.32%(税込み)》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用(信託報酬) 《上限2.1816%(税込み)》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会